

Q レディーファーストの習慣には、どのような例がありますか？

A 【ワンポイント・アドバイス】

女性の社会進出により、レディーファーストの習慣は変化してきていますが、社交上のマナーとしてレディーファーストはまだ健在です。いくつかの基本的な習慣を紹介します。

【解説】

海外では広くレディーファーストの習慣が実践されており、基本的な習慣には以下のような例があります。

1. エレベーターや乗り物への乗り降りなど

エレベーターや乗り物での乗り降りにおいて、エスコートする男性は、女性が先に乗り先に降りるように配慮します。また、ドアを通るときに、男性は女性を先に通しますが、ドアを開けたり、回転ドアをゆっくり回したり、手を添えるようにします。

2. レストラン

レストランでは、エスコートする男性は、女性に手を貸して、コートを脱ぐ（着る）のを手伝います。またテーブルに案内される際、女性が先に進むようにします。テーブルに着席する際には、男性は女性の椅子を引いて着席を手伝います。食事や飲み物を注文する時には、女性が先に注文するように促すか、男性が女性の分も聞いて一緒に注文するようにします。

3. 劇場

劇場では、案内係がいれば、女性が先に進み、男性は後から従いますが、案内係がない場合や、劇場内が暗い場合には、男性が先に進んで女性を安全に誘導します。また、座席は上席を女性に譲るようにしますが、通路側の席が含まれている場合には、男性は通路側に座るようにします。

4. パーティー

会場の入り口などに、レシービングライン（注）が設けられている場合、エ

スコートする男性は女性が先に進むように促して、女性を主催者（ホスト）に紹介します。ただし、公式なパーティーでは、男性が先にホストに挨拶し、その後で女性を紹介します。どちらがよいか迷った場合には、男性が先に挨拶することにかまいません。

また、ビュッフェ形式のパーティーでは、飲み物や食事をとる際に、女性が先にとるように配慮します。男性は、パーティー会場で女性がひとりぼっちにならないよう、女性を他の客に紹介するなど十分に気配りをします。

（注）レシービングラインとは、レセプションなどの行事において、ホスト（主催者）が会場の入り口などで、招待客と挨拶するために行う立礼のことです。